

アクレックス 3500 フロア

仕 様 書

和信化学工業株式会社

木工塗料事業部

平成 年 月 日

アクレックス 3500フロア (非トルエン・キシレン塗料)

木質フロアは体育施設・学校をはじめ店舗・一般住宅等に多く使用されております。そしてそれらに塗られる塗料に要求される性能は、美しい仕上がりとともに高光沢と優れた耐久性です。特に、体育館等の激しい運動をするフロアでは、シューズと床との摩擦によりキズ(ラバーマーク)が生じやすく、従来の水系塗料では、耐えられる程の性能を持たせることはかなり困難なことでした。

本品は、この「耐ラバーマーク性」を重点的に開発され、美しい仕上がりと優れた塗膜性能を兼ね備えた高性能水系塗料です。

§ ホルムアルデヒド放散等級

F (日本塗料工業会登録 W01012)
F は建築基準法における屋内に面積の制限なく使用できる建築材料を示す規格です。

§ 特 長

- 水系塗料 …………… 環境対応型であり火気の心配がありません。
臭気が少なく作業中でも気になりません。
厚生労働省指定の毒物・劇物、消防法の危険物に該当しません。(キシレン、トルエン、エチルベンゼン、ホルムアルデヒドを使用していません。)
- 塗膜性能が良好 …………… 特に耐ラバーマーク性に優れているので、強靱な耐久力が求められるスポーツフロアに最適です。

§ 用 途

文教施設・店舗・一般住宅など広範囲木質フロアへの塗装

§ 使用 方法

本品は水系の一液型塗料でありそのまま塗装できますが、必要に応じて水で希釈してください。(有機溶剤の使用はできません)使用後の用具は水で洗浄して下さい。ただし、乾いてしまった用具は水で洗いにくくなりますので、その際はラッカーシンナー等を御使用下さい。

§ 塗料性状

外 観	茶褐色半透明	
粘 度	24秒±5秒	4 フォードカップ / 25
密 度	1.02±0.02	25 (ウイトカップ)
不揮発分	29%	計算値
凍結安定性	異常なし	-10 ~ 室温 凍結融解5サイクル
保管安定性	異常なし	50 1ヶ月保管

§ 乾燥性目安

塗布量 80～100g/m² 気温20
 乾燥時間 指触 30～40分、指圧 1.5時間～3時間
 条件によって乾燥状況はかわりますので参考として下さい

§ 塗膜性能

カバ合板 3回塗装 25 /40%にて7日間養生

項 目	結 果	条 件
耐酸性	○	5%酢酸水 スポットテスト 24 時間
耐アルカリ性	○	5%炭酸ナトリウム水 スポットテスト 24 時間
耐水性	○	水道水 スポットテスト 24 時間
耐アルコール性	○	60%エタノール水 スポットテスト 24 時間
耐溶剤性	○	塗料用うすめ液 スポットテスト 24 時間
	○	キシレン スポットテスト 24 時間
耐マジック性	黒 赤	24 時間後ベンジンふき取り
耐クレヨン性	黒○ 赤○	24 時間後ベンジンふき取り
耐インキ性	黒 赤×	スポットテスト 24 時間
耐湿熱性	○	300 cc沸騰水入りビーカー 1 時間放置
鉛筆硬度	H	ガラス板 5ミル 20 /60%にて 11 日養生
床スベリ性	0.35	JIS-A-1407
耐摩耗性	27mg	テール-摩耗試験 CS-17 1kg荷重 1000 回

§ 各種塗膜との密着性

塗料名	アレックス 3500 フロア が上塗りの時		アレックス 3500 フロア が下塗りの時	
	研磨あり	研磨なし	研磨あり	研磨なし
アレックス 3000 ホーステイン オーク				
原液 拭き取りなし	×	×	-	-
原液 拭き取りあり			-	-
原液/水 = 1/1 拭き取りなし	×	×	-	-
原液/水 = 1/1 拭き取りあり			-	-
アレックス 3900 ネオステイン	-	×	-	-
アレックス 3300 ウッドシーラー		×		
アレックス 3350 サンテング		×		
アレックス 3400 木部用ウレタンクリヤー		×		
アレックス 3600 アク止めシーラー		×		
アレックス 3500 フロア				
アレックス 3520 2液フロア				
アレックス 3550 白木				
ワシンエコフロア		×		
ワシンエコフロアH - 2				
ワシンエコMフロアWT				×
ワシン Non TX ウレタン	×	×		
ワシンアンダーシーラー	×	×		
ワシンエコステイン			-	-

「アレックス 3500 フロア」が下塗りで「溶剤系塗料」が上塗りの場合はリフティングの可能性があるので出来るだけ控えて下さい。

実際には素材、塗布量、塗り重ねる時間、その他の条件等で変わることがありますので塗布する前に確認することをお勧めします。

§ 塗装工程 (例)

1. 体育館 フロア塗装 (リフォーム塗装)

工程	使用塗料	塗布量	乾燥時間	備考
研 磨	#120 ~ #180メッシュ			ポリッシャー
上 塗	アレックス 3500 フロア 100 水道水 0 ~ 5	80 ~ 100g/m ²	一夜放置	短毛ムートン

塗装翌日の歩行は可能ですが、競技使用には常温にて10日 ~ 2週間程度の養生が必要です。(低温時での施工は、養生期間が短い場合特に、ラバーマークがつきやすくなりますので、ご注意下さい。)

条件によって塗布量、乾燥時間は変わりますので、参考として下さい。

2. 体育館 新規フロア塗装

工程	使用塗料	塗布量	乾燥時間	備考
素地調整	#80～#100メッシュ			
下塗	アクレックス 3500 フロア 100 水道水 0～5	80～100g/m ²	4時間以上	短毛ムートン
研磨	#120～#180メッシュ ポリッシャー			
中塗	アクレックス 3500 フロア 100 水道水 0～5	80～100g/m ²	4時間以上	短毛ムートン
研磨	#120～#180メッシュ ポリッシャー			
ライン塗装	必要に応じてライン塗装を行います			
上塗	アクレックス 3500 フロア 100 水道水 0～5	80～100g/m ²	一夜放置	短毛ムートン

塗装翌日の歩行は可能ですが、競技使用には常温にて10日～2週間程度の養生が必要です。(低温時での施工は、養生期間が短い場合特に、ラバーマークがつきやすくなりますので、ご注意下さい。)

条件によって塗布量、乾燥時間は変わりますので、参考として下さい。
より耐久性を要求される場合は中塗りを1回増やす事(計4回塗装)をお勧めします。

木床がナラ材の場合、アク汚染が発生する場合がありますので、下塗りには「アクレックス 3600 アク止めシーラー」のご使用をお勧めします。

3 - 1 . 体育館以外の木質フローア-塗装 (オール水系仕上げ)

工 程	使 用 塗 料	塗 布 量	乾 燥 時 間	備 考
素地調整	# 80 ~ # 100メッシュ			
着 色	アクレックス 3000 ホ-ア-ステイン 50 水 50	60g/m ² <u>塗装直後にウエス 等で拭きあげ</u>	1時間以上	刷毛
下 塗	アクレックス 3500 フロア 100 水道水 0 ~ 5	80 ~ 100g/m ²	4時間以上	短毛ムートン
研 磨	# 120 ~ # 180メッシュ			ポリッシャー
上 塗	アクレックス 3500 フロア 100 水道水 0 ~ 5	80 ~ 100g/m ²	一夜放置	短毛ムートン

アクレックス 3000 ホ-ア-ステインの原液使用や、拭き取りなしの仕上がりでは密着しない場合がありますので避けて下さい。

塗装翌日の歩行は可能ですが激しい運動等は避けて下さい。

条件によって塗布量、乾燥時間は変わりますので、参考として下さい。

白系着色の上への塗装は、経時的な塗膜の黄変で黄色く見えるようになる事がありますので、ご注意下さい。

3 - 2 . 体育館以外の木質フローア-塗装

(着色のみ環境対応型溶剤系塗料仕上げ)

工 程	使 用 塗 料	塗 布 量	乾 燥 時 間	備 考
素地調整	# 80 ~ # 100メッシュ			
着 色	ワシンエコステイン各色	50 ~ 80g/m ² <u>塗装直後にウエス 等で拭きあげ</u>	4時間以上	刷毛
下 塗	アクレックス 3500 フロア 100 水道水 0 ~ 5	80 ~ 100g/m ²	4時間以上	短毛ムートン
研 磨	# 120 ~ # 180メッシュ			ポリッシャー
上 塗	アクレックス 3500 フロア 100 水道水 0 ~ 5	80 ~ 100g/m ²	一夜放置	短毛ムートン

ワシンエコステインを拭き取ったウエスの処理にご注意下さい。(塗料の付着した布切れなどを積み重ねて放置しておきますと、自然発火することがありますので、その都度焼却するか廃棄するまで水につけておいて下さい。)

塗装翌日の歩行は可能ですが激しい運動等は避けて下さい。

条件によって塗布量、乾燥時間は変わりますので、目安として下さい。

白系着色の上への塗装は、経時的な塗膜の黄変で黄色く見えるようになる事がありますので、ご注意下さい。

§ 使用上の注意

5 以下での塗装や、多湿の際の塗装は硬化時間が極端に遅れるだけでなく、仕上がりが問題となったり、求める塗膜性能が得られない場合がありますので避けて下さい。(特に低温での塗装では耐ラバーマーク性が出にくくなります。)

作業中や養生中はできるだけ換気を良くして下さい。上塗りの養生時にはゴミの付着には注意して下さい。

本品は水系塗料でありますので低温時には凍結しますが、解凍すれば問題ありません。しかし、できるだけ凍結させないように注意が必要です。また、よくフタをし、直射日光を避けたところに保管して下さい。

刷毛などの塗装器具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗ってください。乾いてしまうと水では落ちませんので、ご注意下さい。

取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具等を着用して下さい。皮膚等に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。

目に入った場合には多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

子供の手の届かないところに保管して下さい。

残塗料及び洗浄廃液は、河川・下水などに捨てず、中身を使いきってから廃棄して下さい。

本来の用途以外には使用しないで下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。